１０月の消防広報重点事項

発行　平成２５年９月１０日
盛岡市消防防災課
編集　盛岡中央消防署

ガソリンの貯蔵・取扱いに注意しましょう。

平成２５年８月１５日、京都府福知山市の花火大会会場で露天商店舗が発電機に使用していたガソリンの火災により、多数の死傷者（死者３名、負傷者５６名）を出す事故が発生しました。

このような事故を防ぐために、ガソリンの貯蔵・取扱いについては、下記の事項に注意して、安全管理を徹底するようにお願いします。

≪ガソリンの特性≫

① 引火点が－４０度と低く、極めて引火しやすく危険。
② 揮発しやすく、その蒸気は空気より重いため、広範囲に滞留しやすい。
③ 電気を通しにくい不良導体であるため、発生した静電気が蓄積しやすい。

≪貯蔵・取扱い時の留意事項≫

① ガソリンを取り扱う周辺では、火気や火花を発する機械器具等を使わない。
② 静電気による着火を防ぐためには、金属製の容器で貯蔵するとともに、地面に直接置くなど静電気の蓄積を防ぐ必要があります。また、消火器を必ず備えるようにしましょう。
③ ガソリン容器からガソリンの蒸気が流出しないように、容器は密栓するとともに、ガソリンの貯蔵や取扱いを行う場所は火気や高温となる場所から離れた直射日光の当たらない風通しの良い場所で行うことが必要です。
　特に夏期においてはガソリンの温度が上がり、ガソリン携行缶内の蒸気圧が高くなる可能性があることに留意しましょう。
④ 取扱いの際には、開口前に圧力調整弁の操作等、取扱説明書等に書かれた容器の操作方法に従い、こぼれ・あふれ等がないよう細心の注意を払いましょう。
　ガソリン使用機器の取扱説明書等に記載された安全上の留意事項を厳守し、特にエンジンを稼動したままの給油は絶対に行わないようにしましょう。

ガソリンの貯蔵に適した容器の例
（金属製であることが必要）

ガソリンの貯蔵に適さない容器の例
（樹脂製容器は使用できません。）

ガスこんろを安全に使用しましょう。

平成２４年中、盛岡消防本部管内では、ガスこんろが原因で発生した火災が１１件ありました。平成２３年中の６件から増加しており、依然として人の不注意により火災が発生しています。

特に注意したいのが天ぷら鍋からの出火です。調理中はこんろから目を離さないように気をつけましょう。

また、魚焼きグリルの受け皿にたまっていた魚などの油に火がつき、火災になることがありますので、手入れを忘れずにしてください。

毎日使うガスこんろ。ガスこんろの近くに燃えやすい物を置かないようにするだけで火災を防ぐことができます。今一度ガスこんろ及びその周りを点検し、安全に使用しましょう。

盛岡市内の１月から８月までの火災件数

	平成２５年	平成２４年	比較増減
火災件数	３６件	４１件	５件減
死者数	１人	５人	４人減

平成２５年８月中の火災　３件

８月１日　月が丘三丁目　　店舗併用住宅１棟ぼや

８月３日　上堂三丁目　　共同住宅１棟ぼや

８月６日　大通一丁目　　飲食店１棟ぼや

住宅用火災警報器の
設置を呼びかけましょう。

ピッピちゃん

盛岡市婦人防火クラブ連合会
住警器設置徹底啓発キャラクター